

cs-14. デジタル社会でのマナー, 情報セキュリティ — デジタル時代のガイド —

(コンピューターサイエンス)

URL: <https://www.kkaneko.jp/cc/cs/index.html>

金子邦彦



謝辞：この資料では「いらすとや」のイラストを使用しています

① デジタル社会の特徴と影響

- 個人が情報発信者となる時代
- 情報の価値向上と個人データの重要性増大

② デジタル時代のリスクとマナー

- 著作権尊重の重要性
- オンライン上の自己表現と責任 など

③ 情報セキュリティの基本と対策

- コンピュータウイルスの脅威と感染経路
- 強固なパスワード管理の重要性 など

④ 情報リテラシー

クリティカルシンキング（情報の真偽を見分ける能力）、デジタルリテラシー など

14-1 デジタル社会

情報の広範な流通と共有

情報の価値向上 **デジタル社会** 個人が情報発信者に

技術革新による社会変革

AIとビッグデータが私たちの生活を変革する



人工知能（AI）

- 自然言語処理：

例：ChatGPTによる対話・相談・文章推敲

- 画像認識：

例：顔検出システム、自動運転車の障害物検出

- 音声認識

例：スマートスピーカー、音声アシスタント

ビッグデータ

- マーケティング：

例：個人の嗜好に基づく商品推薦

- 医療

例：大量の医療データの分析による予測

- 交通

例：交通データによる渋滞予測

① 情報の広範な流通と共有



- 情報が、インターネットで**広く流通**，**共有**される
- 情報が、**大規模に次世代に継承**される

② 個人が情報の発信者に

・あらゆる人が情報の発信者となる

検索エンジン Google など

ソーシャルネットワーク LINE など

動画共有 YouTube など

コミュニケーションツール（電子メール）

③ 情報の価値向上



情報の価値向上と個人データの重要性増大

例：

ビッグデータ分析により企業が消費者行動を予測し、的確なマーケティング戦略を立案

例：

個人のSNS投稿が企業の評判に大きな影響を与える

④ 技術革新による社会変革



- ・ 富の爆発的増大
- ・ **新しい産業，サービスの誕生**
- ・ **仕事のやり方**の変化
- ・ **価値観**やの変化

例

自動運転：交通事故の減少、移動の効率化

ドローン配送：物流の効率化、過疎地域へのサービス提供

遠隔医療：地域間の医療格差の解消

スマートシティ：エネルギー効率の向上、生活の質の改善

- **コンピュータ**では、データの保管，発信，共有，流通を行う
- デジタル社会において，**コンピュータ**は，人間の知的能力を増幅させる役割を持つ

- 技術革新が続く
- 技術確認によるさらなる社会変革の可能性

例

AIによる自動運転技術 ⇒ 運輸業界に影響

ドローン配送 ⇒ 物流の効率化の可能性

ブロックチェーン技術 ⇒ 金融取引の仕組みを変革、新しい形の通貨（暗号資産）の誕生

デジタル社会まとめ



- デジタル社会は、情報が高い価値を持つ社会
- **情報**の収集，蓄積，複製，加工，配布が可能な社会
- 情報のためのインフラ（通信網，各種情報サービス）が整った
- 個々が、情報の知識や実践力を持つことが求められる
- 私たちの行動は，すでにデジタル化されつつある

14-2 情報の蓄積，共有，継承

世界中が編集に参加している百科事典
情報の蓄積，共有，継承に役立つ

<https://ja.wikipedia.org/>



The screenshot shows the Japanese Wikipedia homepage. At the top is a navigation bar with a search icon, a star, and a language selector set to 'ja'. Below the navigation bar is a sidebar on the left with links to 'メインページ' (Main Page), 'コミュニティ・ポータル' (Community Portal), '最近の出来事' (Recent Events), '新しいページ' (New Pages), '最近の更新' (Recent Changes), 'おまかせ表示' (Default View), '練習用ページ' (Practice Page), 'アップロード (ウィキメディア・コモンズ)' (Upload (Wikimedia Commons)), 'ヘルプ' (Help), 'ヘルプ 井戸端' (Help Talk), 'お知らせ' (Notice), 'バグの報告' (Report a Bug), '寄付' (Donate), and 'ウィキペディアに関するお問い合わせ' (Contact Us). The main content area features a large heading 'ウィキペディアへようこそ' (Welcome to Wikipedia) with a subheading 'ウィキペディアは誰でも編集できるフリー百科事典です' (Wikipedia is a free encyclopedia that anyone can edit). To the right of this heading is a box stating '1,206,250本の記事をあなたとモバイル版' (1,206,250 articles with you and the mobile version) and 'Help for Non-Japanese Speakers'. Below the heading is a section titled '★ 選り抜き記事' (★ Featured Article) with a subheading '世界遺産' (World Heritage Site). The article text describes the 'World Heritage Convention' and lists 'World Heritage Sites' such as 'cultural heritage, natural heritage, and mixed heritage'. To the right of the featured article is a section titled '📅 今日一枚' (📅 Today's Pick) with a subheading '今日の一枚' (Today's Pick) and a photo of a tennis player.

← → ↺ ja.wikipedia.org/wiki/メインページ 🔍 ☆ 1080 N 🛑 | k ⋮

ログインしていません トーク 投稿記録 アカウント作成 ログイン

メインページ ノート 閲覧 ソースを表示 履歴表示 Wikipedia内を検索 🔍

ウィキペディア
フリー百科事典

メインページ
コミュニティ・ポータル
最近の出来事
新しいページ
最近の更新
おまかせ表示
練習用ページ
アップロード (ウィキメディア・コモンズ)
ヘルプ
ヘルプ 井戸端
お知らせ
バグの報告
寄付
ウィキペディアに関するお問い合わせ

中立的な観点の方針の大幅改訂に関して、調査投票を実施中です。 [非表示]
Wikipedia:拡張半保護の方針が正式化されました。Wikipedia:保護依頼で申請できます。

ウィキペディアへようこそ
ウィキペディアは誰でも編集できるフリー百科事典です

1,206,250本の記事をあなたと
モバイル版
Help for Non-Japanese Speakers

★ 選り抜き記事

世界遺産は、1972年のユネスコ総会で採択された「世界の文化遺産及び自然遺産の保護に関する条約」（世界遺産条約）に基づいて世界遺産リストに登録された、遺跡、景観、自然など、人類が共有すべき「顕著な普遍的価値」をもつ物件のことで、移動が不可能な不動産やそれに準ずるものが対象となっている。慣例的な用法として、その中の文化遺産を世界文化遺産、自然

📅 今日一枚

今日の一枚

Wikipedia に関する演習



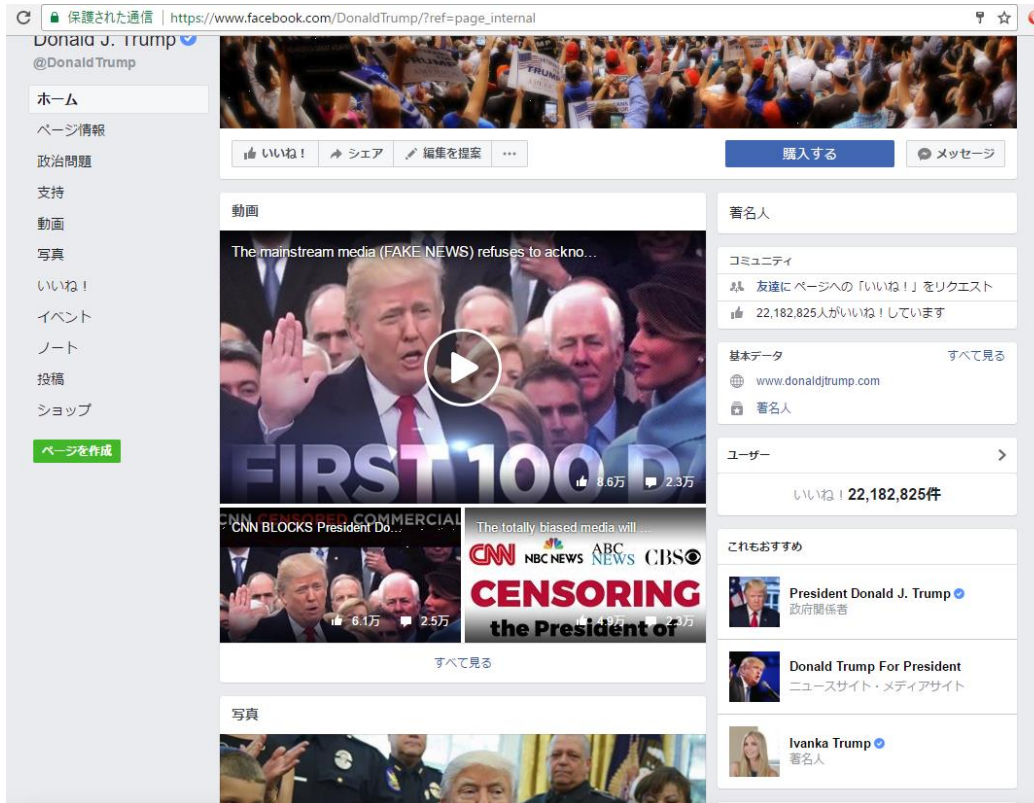
① 検索窓で，自由に，**キーワード**を使って**検索**して**みな**さい。



② Wikipedia の編集には世界中の有志が参加している．そして，憶測等に基づく**不正確な情報**が**混入**しないようにさまざまな工夫が行われている．

どのように工夫されているか調べてみなさい。

**投稿者が守るべきルールやマナー，投稿記事の
チェックの体制やルール**



フェイスブック
トランプ大統領のページ

交流サイト

- 記事・画像の発信.
- 他の人の記事・画像の拡散
- 「友達であること」のアピール（友達申請）
- つながりのアピール（タグ付け）

14-3 デジタル社会のリスクと マナー

デジタル社会



リスク

- 1.情報の誤った拡散
- 2.プライバシーの侵害
- 3.セキュリティ脅威
- 4.デジタル依存

マナー

- 1.情報の真偽確認
- 2.個人情報の慎重な取り扱い
- 3.セキュリティ意識の向上
- 4.適切な利用時間管理

情報の誤った拡散，情報の真偽確認



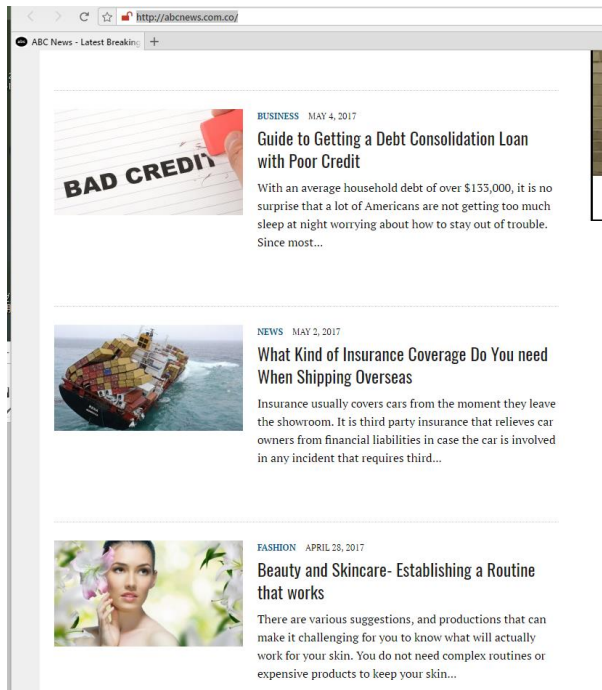
【リスク】

- インターネットを用いた**交流，情報発信**により，**誰もが簡単に世界中に情報を発信**できる
- **不正確な情報**や**悪意のある情報**が広まる可能性

【マナー】

情報の真偽確認が必要

ソーシャルネット上で**虚偽情報**や**冗談**は、深刻な問題を引き起こす可能性がある。



嘘や冗談を書く

→ いろいろな人が面白がる

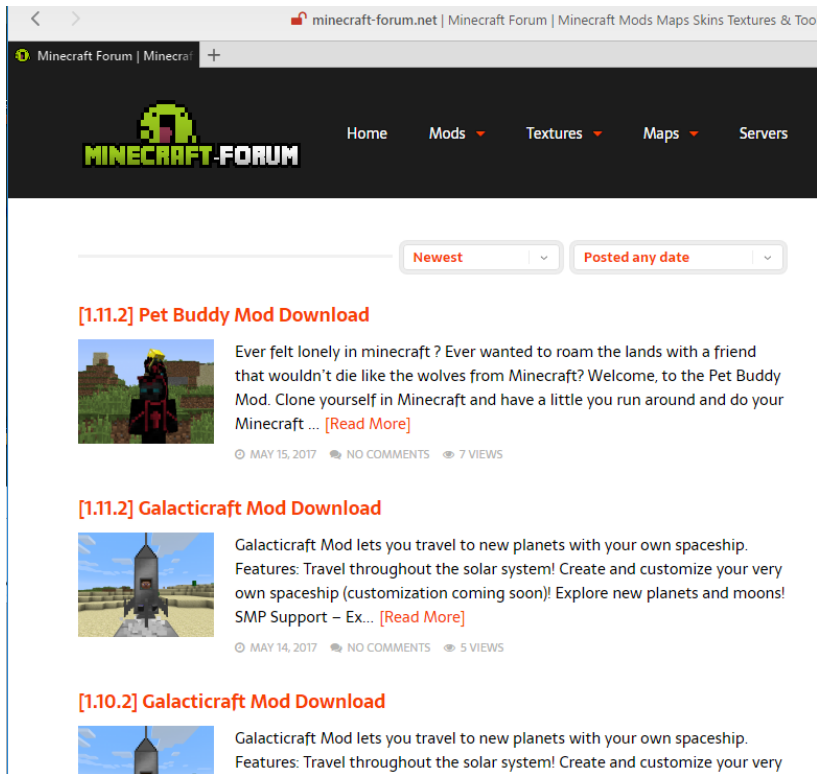
→ 拡散する

→ 嘘か本当か判断せずに安易に拡散することもある

→ 迷惑がかかる

あらゆる情報の信頼性を確認する習慣が必要です

フェイクサイト



価値のないサイト

- ・他者の作品を無断でコピーし，自作のように見せかけ

- ・価値のない商品を

価値のあるものに見せかけ

フェイクサイトに関心を持つのは危険です。

AIによるフェイク生成の仕組み



1. データ収集：大量の画像・音声データを収集
2. 学習：AI がデータを学習．偽の画像・音声の生成能力を獲得
3. 生成：新たな偽の画像・音声を生成
4. 拡散：SNSなどで急速に拡散

フェイクビデオ



+



→



金子の顔

有名人の声，表情，
語り

金子がその有名人
そっくりで語りだす

- **情報技術の進歩は、情報の信頼性にも新たな課題をもたらしている。例：人工知能（AI）によるフェイクビデオ**
- AI の進化により，映像や音声の偽造が容易となり，それが事実かどうかの判断が難しくなっている



情報の真偽確認



- クリティカルシンキング：常に疑問を持つ姿勢
- 情報源の確認：信頼できるメディアか確認
- 複数の情報源：複数の情報源で事実を確認

ソーシャルネットワークのリスクとマナー



【リスク】

- プライバシーの侵害
- 不正確な情報の拡散
- 仲間内で共有しているつもりでも、**世界中に丸見え**という場合もある
- 公開した情報は**取り消しが困難**

【マナー】

- **個人情報**の慎重な取り扱い（プライバシーを侵害しない）
- **不正確な情報**を投稿／拡散しない
- **誰かが不愉快**になる可能性のある投稿／拡散しない

ソーシャルネットワーク利用時のチェックリスト



- ☐ 投稿前に内容を再確認する
- ☐ 他人のプライバシーを尊重する
- ☐ 著作権を侵害していないか確認する
- ☐ 感情的な投稿を避ける
- ☐ 他の人の個人情報を公開しない。自分の個人情報の公開も最低限に
- ☐ 知らない人からの友達リクエストに注意する

これらの注意点を常に意識し、安全で有意義なSNS利用を心がけよう

【セキュリティ脅威】

- パソコンやスマートフォンの警告やオファーは危険なものもある
- 個人情報の窃取、有害なソフトウェアのインストールを目的としていることも

【セキュリティ意識の向上】

- 慌てない
- 他の人に相談する

不正サイトへの誘導

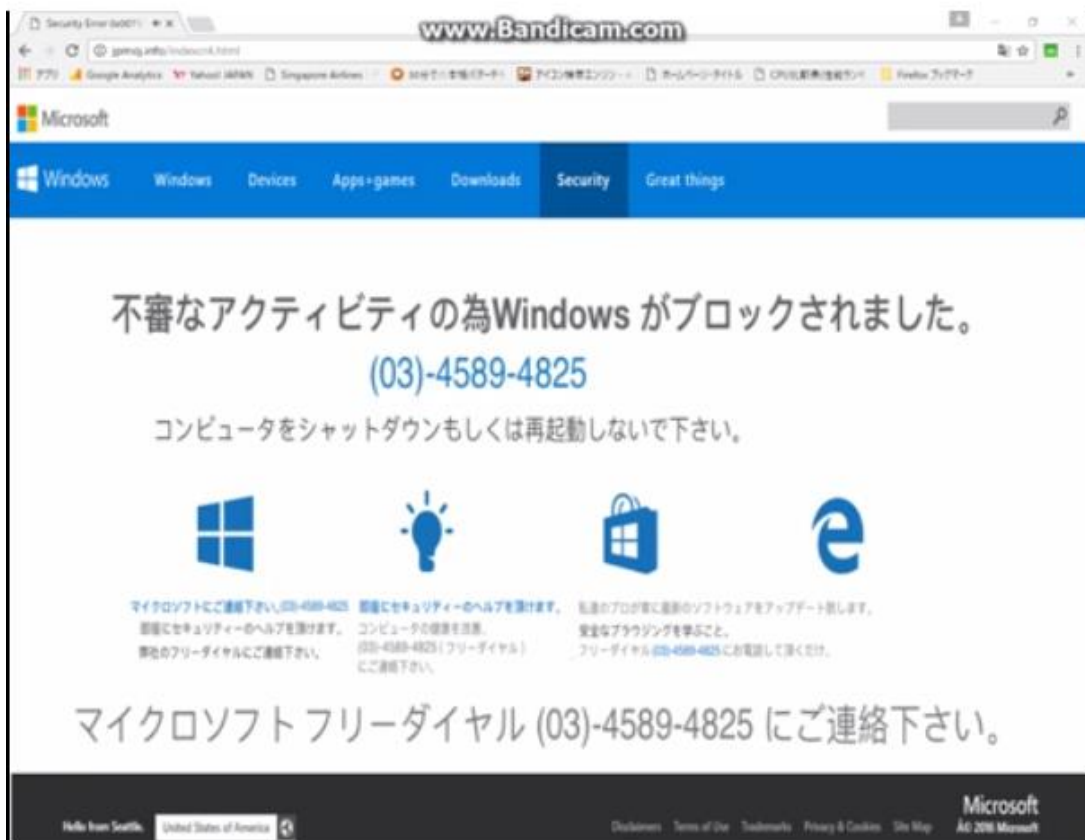


電話連絡！

送金！

**ウェブサイトへの
アクセス！**

**を求める詐欺行為
がある**



**個人情報保護とフィッシング詐欺から身を守るために、
怪しいメールやウェブサイトへのリンクをクリックしない
ように注意が必要です**

問いかけ.



スマートフォンの警告メッセージに遭遇した場合、どのように反応しますか？

警告

あなたのスマホに危険があります！

**1分以内に開始してください。
いますぐ、次をタップして、無料で、
開始してください**

タップ

すぐに反応せず、正規のメッセージであるかを落ち着いて確認しましょう。急がせている場合には特に危険です。

問いかけ.

ウェブサイトで、特別なプレゼントやお金のチャンスが提示されたら、どうしますか？

先着 10 名！
あなたが選ばれました。

特別なプレゼントです。
次をタップするだけです。
あなたに、お金のチャンスを上げます。

タップ

本当に信頼できるか、慎重な確認が必要です

有害なソフトウェア（マルウェア）の仕組み



- 侵入：メールの添付ファイルや不正サイトからダウンロード
- 感染：システムに潜伏
- 活動：個人情報の窃取、システムの破壊など
- 拡散：他のデバイスやネットワークに感染を拡大

有害なソフトウェア（マルウェア）の対策



- **Windows Defender** などのウイルス対策
- OSやソフトウェアの**最新版へのアップデート**
- 不審なメールの**添付ファイルを開かない**
- **信頼できないサイトからのダウンロードを避ける**

有害なソフトウェア（マルウェア）に対する 対策チェックリスト



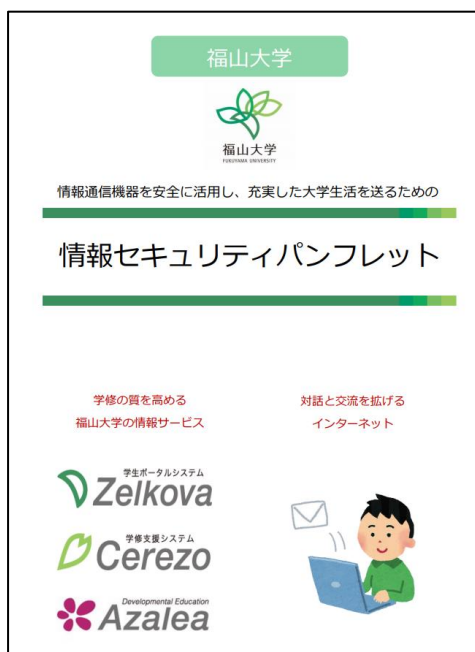
- ☐ OSとソフトウェアを更新する
- ☐ パスワードは適切に設定．他の人との貸し借りは厳禁
- ☐ 不審なメールやリンクに注意する
- ☐ 公共Wi-Fiでパスワードを必要としないものは、データが暗号化されていなかったり、盗聴目的の可能性もあるので使用しない
- ☐ 重要なデータを定期的にバックアップする

14-4 福山大学 情報セキュリティパンフレット

情報セキュリティパンフレット



福山大学ICTサービスセンターで案内している、
情報セキュリティのガイドブックです



ICTサービスセンター
福山大学未来創造館 1 階
開設時間 平日10:00～
13:00, 14:00～17:00

情報セキュリティパンフ レット

- **デジタル社会**において**情報セキュリティ**は必要不可欠である。
- **パーソナルな情報の保護**: 個々人の情報は重要な資産であり、各自が尊重し、守る責任がある。
- **不正アクセスの防止**: オペレーティングシステムのアップデート（更新）などの対策が大切である。
- **データバックアップ**: データの消失を防ぐために、定期的なバックアップを行うべきである。
- **社会的なルールの理解と遵守**: マナーを理解し、遵守することが重要である。



パソコンやスマホ、インターネットを活用

- 情報収集、交流、情報発信
- データの整理や活用
- 授業のための調査, 自宅からの授業資料の閲覧などでも便利

大学生活の充実に大いに役立つでしょう

気を付けてほしいこと



インターネットの普及により、パソコン、スマートフォンなどの情報通信機器を使って、見知らぬ人と交流したり、世界に情報を発信したりするなど、昔は困難だったことが容易になりました。



パソコン、スマートフォンなどの情報通信機器は、学修や、離れた仲間との交流など、大学生活の充実に役立ち、学生生活を豊かにしてくれます。

福山大学でも、学生が使える教育用パソコン室やWi-Fiスポットなど、最新の情報通信機器を充実させています。種々の学生向け情報サービスも整備しています。



学生の皆さんは、情報通信機器を使いこなし、有意義な大学生生活を送ってください。一方で、見知らぬ人からの誘惑や罠の危険、情報通信機器を使ったちょっとした行為が、他人に迷惑をかける可能性にも注意して欲しいのです。

このパンフレットでは、情報通信機器を活用するとき、誘惑や罠から自分を守るために気を付けて欲しいこと、他人に迷惑をかけないために心がけて欲しいことをまとめています。ぜひ、活用してください。



- 誘惑の危険
- 罠の危険
- パソコンやスマホ、インターネットの利用によって他人に迷惑をかける可能性もある

便利なこと

世界とつながる

情報収集
交流など

気を付けて欲しいこと

悪意を持った人からの
誘惑や罠の危険
に注意が必要

無意識に他人に迷惑を
かける行為にも
気を付けてください

情報通信機器を安全に活用するための3か条

インターネットを使うと世界とつながります。たくさんの情報に触れたり、また、たくさんの人と交流ができたり、とても便利です。その一方で、残念ながら、悪意を持った人からの誘惑や罠の危険もあります。ちょっとした行為が他人に迷惑をかける場合もあります。情報通信機器を安全に活用するために、次のことに気を付けて下さい。

1. コンピュータウイルスから自分を守る

コンピュータウイルスは、パソコンやスマートフォンなどに感染し、被害を与えます。電子メール、Web ページ、アプリなど、さまざまなところにコンピュータウイルスが隠れています。「ここをクリックするとプレゼント!」、「楽しいアプリなので、すぐインストールしよう!」、「添付の PDF ファイルは重要情報!」のように巧みな手口でコンピュータウイルスを仕掛けてくる場合もあります。



- 知らない人からの電子メールは開かない。
- 電子メールの送信者が、有名人や知人の名前になっていても、実際には全く別の人である場合があります。電子メールの添付ファイルを開くとき、「会員登録」、「友達申請」などのリンクを開くときは注意する。
- Web ページで「ここをクリック!」とあっても、安易にクリックしない。
- パソコンのオペレーティングシステムは頻繁にアップデートするか、自動でアップデートするように設定する。
- 情報通信機器には、必ずウイルス対策ソフトウェアをインストールする。
※ 福山大学では、学生が無料で利用できるウイルス対策ソフトウェアを準備しています。

2. 大事な情報を漏らさない

ブログや掲示板などの交流はとても楽しいものです。しかし、ブログや掲示板などに書き込んだ情報は、世界中の人の目に触れる可能性があります。一度あなたが書き込んだ情報を、他の人が勝手にコピーして配布することもあります。秘密にしたい情報を守ること、自分以外の人のプライバシーを侵害しないことが重要です。



• 悪意をもったソフトウェア

• 情報の漏えい, 情報の破壊, システムの乗っ取りの危険

情報通信機器を安全に活用するための3か条

インターネットを使うと世界とつながります。たくさんの情報に触れたり、また、たくさんの人と交流ができて、とても便利です。その一方で、残念ながら、悪意を持った人からの誘惑や罠の危険もあります。ちょっとした行為が他人に迷惑をかける場合もあります。情報通信機器を安全に活用するために、次のことに気を付けて下さい。

1. コンピュータウイルスから自分を守る

コンピュータウイルスは、パソコンやスマートフォンなどに感染し、被害を与えます。電子メール、Web ページ、アプリなど、さまざまなところにコンピュータウイルスが隠れています。「ここをクリックするとプレゼント!」、「楽しいアプリなので、すぐインストールしよう!」、「添付の PDF ファイルは重要情報!」のように巧みな手口でコンピュータウイルスを仕掛けてくる場合もあります。



- 知らない人からの電子メールは開かない。
- 電子メールの送信者が、有名人や知人の名前になっていても、実際には全く別の人である場合があります。電子メールの添付ファイルを開くとき、「会員登録」、「友達申請」などのリンクを開くときは注意する。
- Web ページで「ここをクリック!」とあっても、安易にクリックしない。
- パソコンのオペレーティングシステムは頻繁にアップデートするか、自動でアップデートするように設定する。
- 情報通信機器には、必ずウイルス対策ソフトウェアをインストールする。
※ 福山大学では、学生が無料で利用できるウイルス対策ソフトウェアを準備しています。

2. 大事な情報を漏らさない

ブログや掲示板などの交流はとても楽しいものです。しかし、ブログや掲示板などに書き込んだ情報は、世界中の人の目に触れる可能性があります。一度あなたが書き込んだ情報を、他の人が勝手にコピーして配布することもあります。秘密にしたい情報を守ること、自分以外の人のプライバシーを侵害しないことが重要です。



(見知らぬ人からのお知らせ)
ここをクリックするとプレゼント!

(見知らぬ人からのお知らせ)
楽しいアプリなので、すぐにインストール

ページ 3

(見知らぬ人からのお知らせ)
添付ファイルは重要ファイルなので、すぐに開きなさい

コンピュータウイルスから自分を守る



情報通信機器を安全に活用するための3か条

インターネットを使うと世界とつながります。たくさんの情報に触れたり、また、たくさんの人と交流ができてたり、とても便利です。その一方で、残念ながら、悪意を持った人からの誘惑や罠の危険もあります。ちょっとした行為が他人に迷惑をかける場合もあります。情報通信機器を安全に活用するために、次のことに気を付けて下さい。

1. コンピュータウイルスから自分を守る

コンピュータウイルスは、パソコンやスマートフォンなどに感染し、被害を与えます。電子メール、Web ページ、アプリなど、さまざまなところにコンピュータウイルスが隠れています。「ここをクリックするとプレゼント!」、「楽しいアプリなので、すぐインストールしよう!」、「添付の PDF ファイルは重要情報!」のように巧みな手口でコンピュータウイルスを仕掛けてくる場合もあります。



- 知らない人からの電子メールは開かない。
- 電子メールの送信者が、有名人や知人の名前になっていても、実際には全く別の人である場合があります。電子メールの添付ファイルを開くとき、「会員登録」、「友達申請」などのリンクを開くときは注意する。
- Web ページで「ここをクリック!」とあっても、安易にクリックしない。
- パソコンのオペレーティングシステムは頻繁にアップデートするか、自動でアップデートするように設定する。
- 情報通信機器には、必ずウイルス対策ソフトウェアをインストールする。
※ 福山大学では、学生が無料で利用できるウイルス対策ソフトウェアを準備しています。

2. 大事な情報を漏らさない

ブログや掲示板などでの交流はとても楽しいものです。しかし、ブログや掲示板などに書き込んだ情報は、世界中の人の目に触れる可能性があります。一度あなたが書き込んだ情報を、他の人が勝手にコピーして配布することもあります。秘密にしたい情報を守ること、自分以外の人のプライバシーを侵害しないことが重要です。



ページ 3

- 知らない人からのメールは開かない
- 電子メールの送信者や、有名人や知人になっていても、偽装の可能性を忘れない
- ウェブページの怪しげなリンクはクリックしない
- スマホやパソコンのオペレーティングシステムは、頻繁にアップデートするか、自動でアップデートするように設定する
- ウィルス対策ソフトウェアを常に活用

ブログや掲示板に書き込んだ情報は：



情報通信機器を安全に活用するための3か条

インターネットを使うと世界とつながります。たくさんの情報に触れたり、また、たくさんの人と交流ができたり、とても便利です。その一方で、残念ながら、悪意を持った人からの誘いや悪意の投稿もあります。ちょっとした不注意で個人に迷惑をかける場合もあります。情報通信機器を安全に活用するために、次のことに気を付けて下さい。

1. コンピュータウイルスから自分を守る

コンピュータウイルスは、パソコンやスマートフォンなどに感染し、被害を与えます。電子メール、Webページ、アプリなど、さまざまなところにコンピュータウイルスが潜んでいます。「ここをクリックするとプレゼント!」「楽しいアプリなので、すぐインストールしよう!」「『無料体験版』ダウンロードは重要情報!」のようについ好奇心でクリックしてコンピュータウイルスを仕掛けてくる場合もあります。

- 知らない人からの電子メールは開かない。
- 電子メールの送信元が、知人や知人の名前になっていても、実際に多くの人である場合があります。電子メールの添付ファイルを開くとき、「会員登録」、「友達申請」などのリンクを開くときは注意する。
- Webページでここをクリック!とある場合、実際にクリックしない。
- パソコンのオペレーティングシステムは定期的にアップデートするか、自動でアップデートするように設定する。
- 情報通信機器には、必ずウイルス対策ソフトウェアをインストールする。
※ 福山大学では、学生が無料で利用できるウイルス対策ソフトウェアを準備しています。

2. 大事な情報を漏らさない

ブログや掲示板などの交流はとても楽しいものです。しかし、ブログや掲示板などに書き込んだ情報は、世界中の人の目に触れる可能性があります。一度は自分の書き込んだ情報を、他人が勝手にコピーして転載することもあります。結果として、情報を盗ること、自分以外の人のプライバシーを侵害しないことが重要です。

- 他人に秘密にしたい情報をインターネットで書き込まない。特に、住所、免許証や健康保険のコピーなど、プライバシーに関わる情報をインターネットに書き込むのが特に危険です。自宅周辺などの写真も、自分の住所が特定できる材料となり大変危険です。
- 実際のところ、友人のこころ、知り合いのこころなど、自分以外の人のことをインターネットに書き込むときには、その人たちのプライバシーや権利に十分に配慮する。
- その場の雰囲気などで書き込みます。気になった気持ちで書き込むように、自分の気がかり、嫉妬、人の不満、いたずら心などは、うっかり書き込んでしまうと、あとで後悔してしまうかもしれません。
- 偶発的な表示に出会っても、たいていの場合は無視しても大丈夫。インターネットを使っているとき「現金を盗られた!」「盗られたければ電子メールで報告を!」「住所を盗られた!」「電話しよう!」「1週間以内に返さなければ!」などの怖い表示に出会う場合もありますが、慌てずに、信頼できる人に相談しましょう。

3. パスワードをきちんと管理する

パスワードは、福山大学の情報通信機器や、学生向け情報サービスを使うときにも必要です。パスワードは厳重に、自分の秘密を守るとしても大事なものです。

- 自分が利用する情報通信機器（パソコン、携帯電話など）には、必ずパスワードを設定する。パスワードを他人に教えないでください。
- 学校などの公共のパソコンを使って、ログインしたまま放置されるとパスワードを盗まれる危険があります。目を離れる時は必ずログアウトするようにしましょう。
- 生活の日や電話費、図書に載っている単語をパスワードになど、他人に盗難されやすいパスワードは避けてください。暗号強度の高いパスワードを使うようにしましょう。

・ ソーシャルネットワークや掲示板に投稿した情報は、世界中の人の目に触れる可能性がある

・ 投稿した情報は、他人にコピーされて無断で拡散される場合もある

自分や他人のプライバシーを尊重する

- 他人に秘密にしたい情報をインターネットで書き込まない。特に、住所、免許証や顔写真のコピーなど、プライバシーに関わる情報をインターネットに書き込む行為はやめましょう。自宅周辺などの写真は、自分の住所が特定できる材料となり大変危険です。
- 家族のこと、友人のこと、知り合いのことなど、自分以外の人のことをインターネットに書き込むときには、その人たちのプライバシーや感情に十分に配慮を。
- その場の感情のみで書き込まず、落ち着いた気持ちで書き込むように。自分の恥ずかしい体験、人への不満、いたずら怠慢などは、しっかり書き込んだとき、あとで読み返してみると恥ずかしくなるものです。
- 脅迫めいた表示に出会っても、たいていの場合は無視しても大丈夫。インターネットを使っているとき「現金を振り込め!」、「解約しなければ電子メールで連絡を!」、「住所と名前を知らせろ!」、「電話しろ!」、「1週間以内に振り込まなければ」などの怖い表示に出会う場合もありますが、低く、信頼できる人に相談しましょう。

3. パスワードをきちんと管理する



パスワードは、福山大学の情報通信機器や、学生向け情報サービスを使うときにも必要です。パスワードは皆さん自身の身分を証明するとても大事なものです。

- 自分が利用する情報通信機器（パソコン、携帯電話など）には、必ずパスワードを設定する。パスワードを他の人に教えてはいけません。
- 学校などの公共のパソコンを使っていて、ログインしたまま席を離れるとパスワードを盗まれる危険があります。席を離れる時は必ずログオフするようにしましょう。
- 生年月日や電話番号、辞書に載っている単語をパスワードになど、他人に推測されやすいパスワードは避けましょう。暗号強度が高いパスワードを使うようにしましょう。

パスワードは、自分の身分を証明する大切なもの

パスワードをきちんと管理する



◇ パソコンや携帯電話などには、**パスワードを設定する**

◇ **パスワードを他の人に教えてはいけない**

◇ 学校など、**公共のパソコン**を使っているとき、ログインしたまま席を離れてはいけない

◇ 生年月日、電話番号、安易な文字列（「1234」やら）をパスワードに使うのは避ける

- 他人に秘密にしたい情報をインターネットで書き込まない。特に、住所、免許証や履歴書のコピーなど、プライバシーに関わる情報をインターネットに書き込む行為はやめましょう。自宅周辺などの写真は、自分の住所が特定できる材料となり大変危険です。
- 家族のこと、友人のこと、知り合いのことなど、自分以外の人のことをインターネットに書き込むときには、その人たちのプライバシーや感情に十分に配慮を。
- その場の感情のみで書き込まず、落ち着いた気持ちで書き込むように。自分の恥ずかしい体験、人への不満、いたずら自慢などは、うっかり書き込んだとき、あとで読み返してみると恥ずかしくなるものです。
- 脅迫めいた表示に出会っても、たいていの場合は無視しても大丈夫。インターネットを使っているとき「現金を振り込め!」、「解約しなければ電子メールで連絡を!」、「住所と名前を知らせろ!」、「電話しろ!」、「1週間以内に振り込まなければ!」などの怖い表示に出会う場合もありますが、慌てずに、信頼できる人に相談しましょう。

3. パスワードをきちんと管理する



パスワードは、福山大学の情報通信機器や、学生向け情報サービスを使うときにも必要です。パスワードは皆さん自身の身分を証明するとても大事なものです。

- 自分が利用する情報通信機器（パソコン、携帯電話など）には、必ずパスワードを設定する。パスワードを他の人に教えてはいけません。
- 学校などの公共のパソコンを使っていて、ログインしたまま席を離れるとパスワードを盗まれる危険があります。席を離れる時は必ずログオフするようにしましょう。
- 生年月日や電話番号、辞書に載っている単語をパスワードになど、他人に推測されやすいパスワードは避けましょう。暗号強度が高いパスワードを使うようにしましょう。

ページ 4

気を付けて欲しいこと

各自で点検しましょう

情報通信機器はとても便利です。でも、情報の紛失、情報漏えい、うっかり違法な行為を行うなど、危険もあります。危険から自分を守るために、皆さんに守って欲しいことをまとめました。各自で点検しましょう。

① 紛失・盗難に注意しよう

ノートパソコン、携帯電話、USBメモリ、SDカードなどには、大切な情報が入っています。なくしたり、盗まれたりしないように注意しましょう。



② 大事な情報は、前もって複製しておく

学校に提出するレポート、友人との思い出の写真などの貴重な情報は、パソコンなどが故障してもなくなるように、別のUSBメモリやSDカードなどに複製（バックアップ）して、保管しておきましょう。



③ 電子メールでの宛先ミスに気を付けよう

電子メールで大事な情報を送るときは、通う人に送ってしまうことが無いように、正しい宛先になっていることを十分に確認しましょう。



④ 歩きスマホは危険なのでやめる

歩行中にスマホなどを操作するのは危険です。転倒や衝突などの事故を招きます。周囲の人を事故に巻き込む場合もあります。入院や死亡に至る場合もあります。車両（自転車、バイク、自動車）の運転中も、携帯機器を使っちゃダメ。



⑤ スマホ依存症、パソコン依存症にならない

あまりにも長時間、スマホやパソコンなどの電子機器に熱中するのは、健康によくありません。ストレスの原因にもなります。みなさんの周りに、電子機器のゲームやメールなどに長時間没頭している人はいないでしょうか。せっかくの楽しい大学生生活の時間を、電子機器だけに使うのは、もったいないことです。



- ・ 紛失・盗難に気を付ける
 - ・ 大事なデータは、前もって複製（バックアップ）しておく
 - ・ 電子メールでの宛先ミスに気を付ける
- ⇒送信前に宛先を必ず確認する

みなさんに気を付けて欲しいこと



- ⑥ インターネットでの言動も、多くの人に見られていることに気をつけよう

アルバイト、インターンシップなど、社会の一員として活躍することは良い体験になります。このとき、仕事で知った情報を漏らすことや、不満や悪口などを言うのはやめましょう。特に、インターネットを使っての言動には十分に注意しましょう。社会の責任ある一員として振る舞ってください。



- ⑦ 違法コピーは絶対にしない

ソフトウェア、種々のコンテンツ（映画、音楽など）を違法にダウンロードすることや、違法にコピーすることは法律で禁止されています。販売などで利益を得るのはもっての外です。



- ⑧ ファイル共有ソフトウェアは使わない

ファイル共有ソフトウェアは実はとても危険です。違法コピーに加担する、コンピュータウイルスの感染を広げるなど、危険がいっぱいです。



- ⑨ 剽窃や著作権侵害を行わない

「他人の文章やアイデアを盗んで、自分のものとして発表すること」を剽窃（せうせつ）といいます。「著作権者の許可なく、著作物を利用すること」を著作権侵害（さくばくけんがい）といいます。剽窃や著作権侵害を行ってはいけません。



- ・ 他人が作成した情報（文章や写真など）を丸ごとコピーしたり、切り取ったりして、自分のものとして発表してはいけません。授業でのレポート作成、ブログや掲示板での情報発信等で、十分に気を付けて下さい。
- ・ 引用する場合には、引用元の情報と、引用した部分とが明確に分かるように示しましょう。
- ・ 過度な引用は、剽窃や著作権侵害の恐れがあるので、注意しましょう。

- ⑩ 情報通信機器を悪用すること、公序良俗に反することは絶対に行わない

ページ 6

- ・ インターネットでの行動は意外と多くの人に見られています

- ・ 違法行為は絶対にしない

【違法行為の例】

ソフトウェアの不正コピーや配布

音楽、映画、書籍などの著作物の無断ダウンロードや共有

ライセンス違反（個人利用のソフトウェアを業務で使用するなど）

• デジタル社会

- デジタル社会は、**インターネットや情報技術の普及により情報が広く流通・共有される社会**
- **情報**が次世代にも大規模に継承され、**個々の人が情報の発信者となる**。

• デジタル社会のマナー

- デジタル社会においては、**個人が簡単に世界中に情報を発信できるため**、情報の正確性や、プライバシーの侵害に注意が必要
- フェイクニュースやフェイクサイトに注意。
- **情報の信頼性を確認**する習慣を持つことが重要。
- **著作権**を尊重することも重要。

• 情報セキュリティ

- 情報セキュリティは、デジタル社会において**情報やシステムを危険から守る対策**のこと。
- **AIによるフェイクビデオ等**、新たな情報操作技術への対応も大切
- **パスワードの適切な管理、コンピュータウイルスからの防御、不正アクセスや盗難への対策、重要なデータのバックアップ**などが重要。
- **個人情報の適切な管理と保護**（自分の情報だけでなく、他人の情報も含む）
- **ソーシャルメディアでの情報共有に注意**し、プライバシー設定を適切に行う

今回の授業の学ぶ意義と満足感

- 
- ① **デジタル社会への理解と適応。** 情報の流通や個人の情報発信力の増大を把握。AIやビッグデータが社会に与える影響。技術革新と社会変革の可能性。
 - ② **情報リテラシーとセキュリティスキルの向上。** フェイクニュース、不正確な情報、コンピュータウイルス、詐欺、個人情報の拡散などのリスクを知る。対策を知る
 - ③ **デジタル時代の倫理とマナーの習得。** オンライン上での責任ある行動。デジタル社会における倫理的判断力。
 - ④ 解決能力と批判的思考力を向上。グローバルな視野を獲得。